

成果指標				
成果指標	認定調査件数			
指標設定の考え方	介護認定審査会に諮るための調査資料とするための調査業務であるため、認定審査会での認定者数を推計するための数値設定。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	2,500件	2,500件	2,500件	0
実績	2,488件	2,417件	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	今年度は認定調査員が4名(1名減)となり、訪問調査の日程調整に苦慮した。そのため、委託件数を増やすなど効率化を図ったが、根本的な解決には至らず、認定結果が遅いとの苦情もあった。今後も、申請件数は増加すると思われるため、調査員の増員及び研修等による資質向上が必要である。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	認定調査員の減により、調査件数は減っているが、自己評価者の課題認識のとおり、今後、さらに調査件数は増加するものと見込まれ、調査員の増員、調査員の資質向上を図っていく必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	調査員の資質向上を図り、認定調査業務を的確に進める必要がある。

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	下記の点を見直しの上、継続する。
意見、課題	二次評価の内容を踏まえ見直すこと。